



記者発表資料	
令和4年10月7日	
担当課 (担当)	中央人権福祉センター (川口)
電 話	(外線) 24-8241

社会的孤立防止サポーター(仮称)の養成について

深刻化する「社会的孤立」に対応するため、まずは「つながる」ことが支援の第一歩になります。問題を深刻化させない、あるいは問題を抱えながらも生きていくためには、つながる=ひとりにしないということが重要です。

社会的孤立防止サポーター(仮称)の取組は、個人に対する支援の一環であるとともに、人を孤立させない=ひとりぼっちをつくらぬ地域社会の創造を目指すものです。

1 「社会的孤立防止サポーター(仮称)キックオフミーティング」

- (1) 日 時 令和4年10月17日(月) 13時00分～15時30分
- (2) 場 所 人権交流プラザ 2階研修室(幸町151)
- (3) 日 程
 - ・研修(オンライン)
 - 演題 「孤独・孤立対策に必要な視点」
 - 講師 宮本 太郎 中央大学法学部教授
 - ・会議
 - 名称の決定、養成研修のプログラム等の協議
- (4) 出席者 庁内関係課、鳥取県東部医師会在宅医療連携推進室、鳥取県社会福祉協議会、鳥取市社会福祉協議会、他 20名程度

2 「社会的孤立防止サポーター(仮称)養成研修」

- (1) 日 時 令和4年12月4日(日) 9時30分～16時30分
- (2) 場 所 人権交流プラザ 3階大ホール(幸町151)
- (3) 日 程
 - 【午前】
 - ・開会行事
 - ・《講義1》「地域共生社会の実現と“助けて”と言えない人への支援」
原田 正樹 日本福祉大学社会福祉学部 教授
 - ・《講義2》「“伴走型支援” つながり続けることを目的とする支援」
奥田 知志 認定NPO法人抱樸 理事長
 - 【午後】
 - ・《グループワーク1》身近にある多様な孤立ケースについて
 - ・《グループワーク2》事例検討
 - ・修了証交付、閉会行事
- (4) 対 象 関心のある方 どなたでも
 - ・地域食堂、高齢者サロン、認知症カフェ等に関わられている方
 - ・地域福祉活動関係者、ひきこもりや高齢単身者等に係る支援者、他
- (5) 定 員 約40名(申込み先着順)